

質問

がん治療中の60代女性です。最近、体に時々痛みを感じるようになりま
した。医師に相談したところ、緩和ケアを勧められました。治らないから
痛みを緩和する治療に切り替えるということでしょうか。麻薬のイメージがあり、抵抗
を感じています。

緩和ケア



生田 賢治
徳島大学病院
麻薬室長

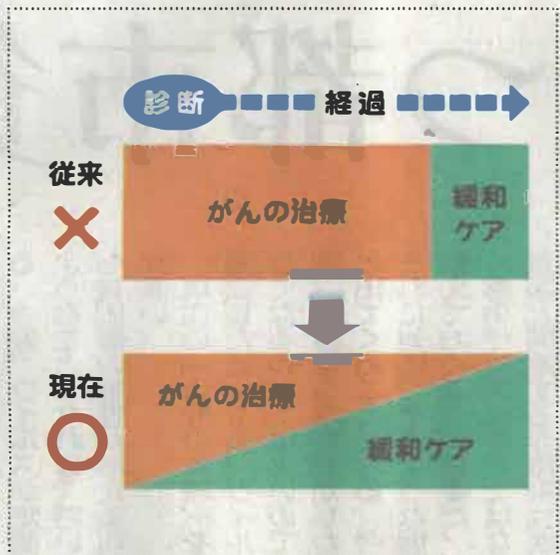
回答

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者やその家族の体や心などの苦痛を和らげ、自分らしい人生を送ることができるよう
に支えていくことです。がん患者や家族は、がんと診断された時、治
療中、再発や転移が分か
った時などは、つらさや
ストレスを感じます。そ
こで緩和ケアは患者と家
族がより良く過ごせるよ
うに、いろいろな場面で
幅広い対応をします。必
ずしも治らないから痛み
を緩和する治療に切り替
えるわけではありません。
以前、緩和ケアはもう他
に治療ができなくなった
ので痛みを取るためだけ
に行うものと思われてい
ました。しかし最近で
は、終末期だけでなく、
がんの初期から、痛みや
さまざまな症状を和らげ
る緩和医療を行うことが

診断時から治療と併行



重要とされています。2018年に国が策定した第3期がん対策推進基本計画にもこの考えが盛り込まれました。そして現在のはがんの診断時から治療と同時に緩和ケアを受けられるよう、医療関係者は努力しています。鎮痛薬を適切に使うことでがんに伴う痛みのほとんどが軽減できます。痛みの治療はWHO(世界保健機関)方式のがん



疼痛治療法に沿って行われ、痛みの強さに応じて段階的に鎮痛薬を投与。強い痛みにはモルヒネなど医療用麻薬を使いま

す。医療用麻薬に対し、「中毒の危険性がある」「命が縮む」と誤解する人がいます。しかし、医師の指示のもとに使用している限り問題ありません。医療用麻薬の一般的な副作用に、便秘、吐き気、眠気があります。これらの副作用は予防や治療ができるので、安心して痛みの治療を受けることができます。便秘は医療用麻薬を使用している患者の約80%が経験します。

「命が縮む」と誤解する人がいます。しかし、医師の指示のもとに使用している限り問題ありません。医療用麻薬の一般的な副作用に、便秘、吐き気、眠気があります。これらの副作用は予防や治療ができるので、安心して痛みの治療を受けることができます。便秘は医療用麻薬を使用している患者の約80%が経験します。

眠気は、しばらく薬を使い続けるとなくなる場合がほとんどです。しかし、眠気が気になる場合は遠慮せず医療スタッフに相談してください。

緩和ケアによって苦痛を和らげるためには、我慢せず痛みやつらさを周囲に伝えることが大切。そうすることで周囲の人々は、患者と一緒に和らげる方法を考えることができます。緩和ケアを受けたい、知りたいと思っ

薬の適切使用で痛み軽減

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
(平日午前8時半から午後5時まで)
へ。

(第4土曜掲載)